

カラダもココロも健康に

# いきいきらifu

no.76  
2022.SUMMER

徳大病院だより

特集

## 児童思春期外来 について

### ■CLOSE UP

排尿ケア管理室

### ■徳大病院ニュース

- ・キワニスドールの贈呈
- ・「看護の日」の取り組み
- ・ホスピタルギャラリー be「木の鳥展」について

### ■病院のお仕事いろいろ

- ・臨床工学技士

### ■tokudai-staff information

### ■地域連携の部屋

- ・地域連携病院④  
「清和会 協立病院」

### ■食事のヒント

- ・朝ごはん、食べていますか？



# 児童思春期外来について

本院では週2日(水曜日・木曜日)に児童思春期の精神医療の専門外来「児童思春期外来」を開設しています。今回は子ども達の精神医療と本院の取り組みについて精神科神経科の梅原医師にお話を伺いました。

## ♡ 児童思春期外来とは

本院精神科神経科では、18歳以下の新患が年間70～100名程度受診され、そのうち8割が思春期の子ども達となっています。

思春期は特に友人関係や親・学校の先生などの身近な大人との関係で非常に悩む時期ですし、様々な精神疾患の好発時期でもあります。また、大人と子どもでは発達段階の相違から、物事に対する不安や恐怖の感じ方にも違いがあり、大人と同じような対応はできません。そのため、子どもの精神医療に携わる医師には、子どもの心に関する一定水準の専門知識と技能を身につけておくことが必要となってきます。

本院児童思春期外来では、子どものこころ専門医((一社)子どものこころ専門医機構認定。以下同じ。)である。医師3名が、18歳以下の方を対象に診察しています。初診は、毎週水曜日と木曜日の午前中に設定しており、電話での予約を受け付けています。

病院で行われる治療法には、薬物療法、カウンセリング、環境調整などがあり、子ども達の個々の状況に合わせて行います。環境調整は、本人が生活しやすい環境を整えることですが、具体的には、親御さんや学校の先生など本人の周りの大人に対し、疾患への理解、対処方法などを伝えるとともに、親御さんへのケアも行って

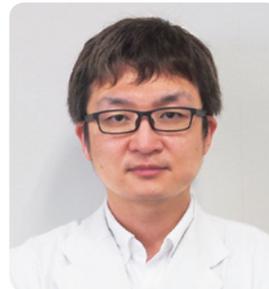
います。

また、様々な理由から対人関係に悩む思春期の子ども達向けに集団社会認知リハビリテーションプログラムも用意しており、心理学に関する雑学を学んだり、その雑学に関連する様なボードゲームをしたりしています。親御さんには思春期の子をもつ親向けのペアレントトレーニングを不定期で行っています。トレーニングという名称になっていますが、そんなに気を張る様な内容ではないので安心して受けにきていただければと思います。(4月14日時点、新型コロナウイルス感染症の影響で一時休止中)

その他にも、思春期以外の様々な年齢層の方が参加



診察室風景



■説明は  
徳島大学病院  
精神科神経科  
総務医長  
**梅原 英裕**  
(うめはら ひでひろ)

■お問い合わせ先  
精神科神経科外来  
Tel: 088-633-7128

## 患者さんへひとこと

子ども達本人はもちろんですが、親御さんもうしてよいのか分からないと途方にくれていることもあるかもしれません。自分達だけで抱えず、相談に来て下さい。すぐには解決できない問題もたくさんありますが、子ども達の成長を皆で見守っていただければと思います。

しているデイケア(主にグループ活動で、対人関係や日常生活の練習、疾患への理解を深めること、趣味の活動など様々なプログラムがある)や作業療法(陶芸、革細工や手芸などの創作活動)に参加していただくことも

あります。

ただ、現在新型コロナウイルス感染症の影響で、活動に制限のある取り組みがありますので、感染予防対策を実施しながら、徐々に活動を再開していきたいと考えています。

## ♡ 子ども達の心を守るために

現在、子どものこころ専門医は全国で約600名程度認定されており、徳島県では6名認定されていますが、それ以外にも、児童思春期の精神医療に精通し、数多くの子ども達を診ておられる医師が県内にいらっしゃいます。それでも専門性を持った医師は不足しているのが現状です。

本院精神科神経科は、今年の4月から本院小児科及び四国こどもとおとなの医療センター児童精神科と連携する形で、子どものこころ専門医の研修施設となっています。今後、更に子ども達の精神医療に携わる医師の育成に力を入れ、子ども達が適切な精神医療を受けられる環境を作ることに努めていきたいと考えています。



デイケアルーム風景



CLOSE UP!



■説明は  
徳島大学病院  
排尿ケア管理室長  
山本 恭代  
(やまもと やすよ)

## 患者さんにひとこと

患者さん本人、そのご家族でお困りの排尿トラブルであれば、まず泌尿器科にご相談いただくとよいと思います。また、本院に入院される方は、排尿ケア管理室で解決できることがあるかもしれませんので、お気軽にご相談ください。

# 排尿ケア管理室について

今回は、入院中に尿道カテーテルを使用した患者さんを対象に、排尿の自立が可能となるよう支援を行う本院の排尿ケアの取り組みについて、排尿ケア管理室の山本医師にお話を伺いました。



## ○ 排尿ケアの必要性

排尿とは、文字通り、尿を体外へ排出することを指しますが、尿意を感じてから、適切な場所に移動し、衣服を着脱、トイレなどに尿を排出し、後始末をするという健康な人には自然な行為がスムーズにできない場合、人は大変な苦痛を覚えることがあります。つまり、排尿が自己で完結して行えないということは、人間の尊厳に関わる大きな問題といえます。

入院中には、疾患や手術などの様々な要因により排尿のための尿道カテーテル留置を行うことがありますが、羞恥

心といったデリケートな問題に加え、長期間使用による尿路感染症や、尿路結石、萎縮膀胱といった合併症、留置の違和感及び日常動作の制限などによる患者さんのQOL(生活の質)の低下といった問題もあります。しかし、抜去後に排尿困難や頻尿、尿失禁などのトラブルが生じることもあり、本院排尿ケア管理室では、不必要な尿道カテーテル抜去を目指すとともに、抜去後の症状が生じた患者さんや、症状が生じると予想された患者さんを対象に、患者さん本人が自立して排尿できるよう支援を行っています。

## ○ 排尿ケア管理室の取り組み

本院では、平成30年から泌尿器科医師、看護師、理学療法士からなるチームで排尿ケアの取り組みを開始し、令和2年4月には、さらにソーシャルワーカー及び事務職員を加えた排尿ケア管理室を設置して、活動の充実を図っています。今年の4月からは薬剤師も参加するようになりました。

本院での新規の排尿ケア介入症例は、平成30年3月から令和4年3月までの4年間では約800症例となっています。介入する診療科としては泌尿器科が最も多くなりますが、脳神経外科や脳神経内科、整形外科など

複数の診療科にわたります。

具体的な取り組みとして、排尿ケアの対象となる患者さんは、まず病棟看護師がスクリーニングにより抽出し、排尿日誌の記載や、排尿後の残尿測定を行い、排尿ケア管理室に連絡します。その後、週1回の排尿ケア回診時に排尿ケア管理室のメンバーと病棟看護師が患者さんの状態を診察し、多職種によるミーティングを行い、排尿誘導や自己導入の指導、リハビリ、骨盤底筋トレーニング、薬物療法や手術など患者さんに応じた包括的なケアや治療を行っています。



排尿ケア管理室のメンバー

回診の様子

## ○ 今後の課題

本院は急性期病院ということもあり、患者さんの退院までの排尿ケアの介入回数は一人当たり約1.6回となっており、患者さんへの支援が完了しないうちに退院されるため、退院後の継続的な支援が課題となっています。排尿ケア管理室では、出来得る限り紹介状に排尿ケアに関する記載を行う対応を取っていますが、十分

ではありません。患者さんの良い状態をキープするためには、退院後の患者さんの診療に携わる医療機関の排尿ケアへの理解が不可欠です。そのため、現在徳島県で排尿ケアを行う病院が中心となり、研修会を実施するなど排尿ケアに関する地域の関係づくりを行っています。

## 徳大病院 ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

### キワニスドールの贈呈

令和4年5月10日、子ども達を支援する活動などを行う徳島キワニスクラブメンバーが本院を訪れ、小児科病棟に入院中の子ども達のためにキワニス

ドールが贈呈されました。キワニスドールは真っ白な手縫いの人形で、思い思いに顔や洋服を描くことで、世界に一つだけのオリジナルの人形になります。



徳島キワニスクラブメンバーと香美病院長



送られたキワニスドール(一部)

### 入院日用品レンタルサービス『CSセット』専門企業

『CSセット』とは？

入院時に必要となる日用品やおむつ、タオル類、衣類等を洗濯付きでレンタルできるサービスです。



**DELAN**  
株式会社エラン

東証一部上場(証券コード:6099)

お問い合わせはこちら

TEL 0263-29-2680(9:00~17:00)

Mail request@kkelan.com

### 西病棟 11階 特別個室

春の桜。  
夏の深緑。  
秋の紅葉。  
山眠る冬。  
眉山の  
絶景を臨む  
特別な空間。



特別個室に入室をご希望の方は担当医にご相談ください。

### 「看護の日」の取り組み

5月12日は近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日です。この日にちなみ「国際看護師の日」が制定され、日本では、旧厚生省により、平成2年に看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけになるように「看護の日」が制定されました。また毎年、看護の日を含む週の日曜日～土曜日は看護週間とされ、全国各地で看護の日・看護週間に関連した取り組みが行われています。

本院看護部は、今年の看護の日・看護週間の取り組みとして、令和4年5月



9日から5月13日に外来患者さん・入院患者さんへ、コロナ禍でも看護の心が皆様に届くことを願い、日本看護協会作成の「看護の日」キャラクター【かんごちゃん】のロゴマークを貼った感染予防対策セットを配布しました。(看護部 横田)



### ホスピタルギャラリー be「木の鳥展」について

本院では武蔵野美術大学との共同研究により、「美術」と「医術」のコラボレーション、「美(b)」と「医(e)」のコラボレーションとして、ホスピタルギャラリー beを西病棟1階に設置し、県内作家の作品や武蔵野美術大学の学生作品を展示しています。

令和4年4月25日から8月27日の期間、バードカービング作家の故・前田誠之助氏(令和3年10月4日永眠)の作品による「木の鳥展」を開催しています。展示の作品は、野鳥が訪れる作家自身の工房で作られました。枝を掴む爪先、威嚇するような前傾姿勢、さ

えずりが聞こえてきそうな表情の作品は前田氏の観察眼があったことです。自然に愛され、野生動物に愛された前田氏の木彫りの作品を本院にお越しの際は、是非ご覧下さい。

期間：令和4年4月25日(月)～  
8月27日(土)

場所：ホスピタルギャラリー be  
(西病棟1階ロビー)

協力：武蔵野美術大学



## 病院のお仕事いろいろ

### ミスのない医療を



医療技術部  
臨床工学部門  
臨床工学技士

近田 優介  
(ちかた ゆうすけ)

病院では、血液浄化装置や人工心肺装置、人工呼吸器など診療に必要な不可欠な様々な医療機器が存在しています。近年、新型コロナウイルス感染症の重症者治療に使われることでメディアによって取り上げられたECMO(エクモ：体外式膜型人工肺)もその一つです。臨床工学技士の主な仕事はこのような医療機器の保守点検及び操作を行うことです。医療機器にトラブルが発生すると患者さんの生命に関わる重大な事故に繋がる恐れもあるため、臨床工学技士には、医療機器の安全性確保及び有効性の維持に関する高い専門性が求められます。

臨床工学技士の業務について、「他の職種でも同様ですが、医療にミスは許されません。知らないということも許されません。常に完璧であることが求められます。」と近田さん。また、大学病院特有のこととして「大学病院は、診療だけでなく教育や研究の場としての側面もあり、最新の医療機器を使うことも多いです。しかし、こ

れも必ず安全を担保しなければならないため、大変注意深く行う必要があります」ともお話してくれました。

常にミスは許されないという大きなプレッシャーを感じる業務の中でも、近田さんが担当されている救急集中治療室などの重症の患者さんの症状が改善し、退院されたり、一般病棟に移られたりした際はやりがいを感じるとともに、そのように退院された患者さんが、数年後に検査に来られたなどの話を聞くと、とても感慨深いとのことでした。

今後取り組みたいことについては、「診療についてはもちろんですが、徳島大学病院の臨床工学技士には若手がたくさんいますので、彼らを育てていくことです。仮に彼らがここを離れても、他の病院から見ても徳島大学病院でしっかり学んでいるんだなと思っていただけるようにしていきたい」と語ってくれました。

### 治療を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 尿路上皮癌
- 腎細胞癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 多発性骨髄腫
- 潰瘍性大腸炎
- 小児2型糖尿病
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- てんかん
- 統合失調症
- 間質性膀胱炎
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- ALS(筋萎縮性側索硬化症)
- 慢性線維化性間質性肺疾患
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)
- 慢性流涎症(唾液過多)
- 特発性肺線維症
- ALアミロイドーシス
- 多巣性運動ニューロパチー(MMN)



ご協力  
お願いします。

ちけん君は日本医師会  
治験促進センターの  
キャラクターです。

問合せ：  
総合臨床研究センター  
tel.088-633-9294

### tokudai-staff information

## 新病院長補佐のごあいさつ



病院長補佐  
(病院業務強化担当)  
整形外科長

西良 浩一  
(さいりょう こういち)

令和4年4月より病院長補佐・病院業務強化担当を拝命いたしました。職務の幅が広く、大変やりがいのある仕事です。最初に手がけたいのは患者さんの満足度向上です。現在、徳島大学病院には大変多くの患者さんが受診しております。アンケートの結果によると、長い待ち時間があるようです。一昔前は、大学病院受診は一日仕事と言われる時代もありましたが、令和の今、待ち時間短縮・満足度向上は喫緊の課題です。県民・国民の皆様にご頼られ、愛される、地域密着の大学病院を目指します。



病院長補佐  
(医歯連携担当)  
歯科麻酔科長

川人 伸次  
(かわひと しんじ)

本年4月から病院長補佐(医歯連携担当)を拝命いたしました歯科麻酔科の川人伸次です。歯科領域の麻酔蘇生学・疼痛緩和と医療学・救急集中治療医学を専門とし、最近は難治性疼痛の治療に力を注いでおります。四国で唯一の歯学部を有する総合大学としてのメリットを最大限に生かし、医科歯科連携を更に強化し、徳島大学病院として特色のある医療を地域の皆様のご要望に沿って提供したいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



病院長補佐  
(経営担当)

近藤 武  
(こんどう たけし)

この度、病院長補佐を拝命いたしました近藤武と申します。生まれも育ちも徳島で、県外の大学卒業後地元金融機関に勤務しておりました。ご縁あって当職に就かせていただいたことを喜んでおりますが、職場の環境・業務内容がこれまでと違うため、皆さまにはご迷惑をおかけすることも多々あると思っております。業務を習得し少しでも早く貢献できるよう邁進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



病院長補佐  
(事務担当)  
事務部次長

脇元 直彦  
(わきもと なおひこ)

令和4年4月1日付けで事務部次長を拝命しました。病院事務部では、患者さんがスムーズに受診できるための支援や、高度な医療を提供するための環境整備、医療人の育成や臨床研究等のサポート、行政や地域医療機関との連携を図る業務などを行っております。少子高齢化や人口減少など、社会を取り巻く環境が劇的に変化していくなかで、県民の皆様が安心して医療を受けられるよう病院を支えてまいりますので、よろしくお願いいたします。



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.45

### 地域連携病院④「医療法人 清和会 協立病院」

今回は、徳島市八万町にある医療法人清和会協立病院をご紹介します。

#### ■地域に根ざした医療を



上田 美弥(うえた みや)  
理事長



吉嶋 淳生(よしま すなお)  
病院長

協立病院は「地域住民の健康を支え、安心・信頼される病院であり続けます」を理念として掲げ、一般病床のほか、回復期リハビリテーション病床、医療療養病床を有し、地域住民のニーズに即した病床を完備しています。また、高齢化が進む徳島において、外来受診患者さんを対象とした無料送迎サービス(予約制)を実施しており、地域の多くの患者さんに利用され、喜ばれています。

協立病院では、地域の包括的医療の観点により、近隣の医院・クリニックとの連携にも力を入れ、CTやMRIなどの検査依頼に応えるとともに、定期的な情報交換会を行い、顔の見える関係作りに努めてきました。

徳島大学病院との連携は、術後のリハビリ、長期療養の患者さんやターミナルケア・緩和ケアの患者さんの受け入れなどを幅広く担っています。また、回復期の患者さんにおいては、リハビリの状況・回復状態や退院後の療養先について徳島大学病院患者支援センターへフィードバックの報告を続け、連

携の強化を図っています。

#### ■よりよい地域医療を目指して



今年5月に、協立病院は新病院へ移転しました。新病院は、安心・安全な医療提供ができる病院として、耐震性の高い構造としており、自然災害時においても住民の避難所となり得る機能を備えています。さらに院内施設充実のため、カフェテラス等を完備し、情報発信のための勉強会や交流会ができる会議室もあります。病院敷地内には桜の木や芝桜が植えられており、地域の憩いの場としても



さくらカフェ(1F売店奥)の様子

親しまれています。来年、協立病院は50周年の節目を迎えます。地域住民にとって身近で相談しやすい病院として、さらなる医療体制の充実、地域との連携強化や、患者さんのための取り組みなどの情報発信に努めていきたいとお話いただきました。

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

#### 問い合わせは

医療法人 清和会  
協立病院  
徳島県徳島市八万町寺山  
13番地2  
TEL.088-668-1070(代表)  
088-668-1082(連絡室直通)  
FAX.088-667-1578(連絡室直通)

■説明は  
中村 康弘(なかむら やすひろ)  
地域連携室課長



## 食事のヒント

### テーマ 朝ごはん、食べていますか？

朝食は身体活動に必要な様々な栄養素を補給し、1日の活動をスタートできる状態をつくるためにとても重要です。また、朝食抜きの習慣は肥満や脳出血など生活習慣病のリスクを高めることも明らかになっています。今回は、簡単に準備できる朝食メニューを紹介します。

回答は  
栄養部 / 栗田 由佳  
(あわた ゆか)



#### 巣ごもりたまご

【栄養量】エネルギー 226kcal、たんぱく質 10.1g、塩分 0.9g



#### 【材料(1人分)】

キャベツ 100g  
ベーコン 1枚 20g  
卵 1個  
塩 少々  
こしょう 少々  
水 大さじ2  
サラダ油 大さじ1/2

【作り方】①キャベツは千切りにする。ベーコンは1cm幅に切っておく。②フライパンにサラダ油をひき、①を炒める。塩、こしょうで味付けする。③キャベツがしんなりしてきたら、円形にまとめ、中央にくぼみを作り、卵を割り入れ、水を加えて蓋をして加熱する。④卵が固まったら、火から下ろし、器に盛りつける。

ちよつと一言 ご飯やパンなどの炭水化物だけでなく、たんぱく質を多く含む肉・魚・卵、食物繊維・ビタミンが豊富な野菜も併せて食べましょう。

#### ひらひら人参のチャンプル

【栄養量】エネルギー207kcal、たんぱく質9.9g、塩分1.5g



#### 【材料(1人分)】

人参 1/2本  
ツナ缶 1/4缶  
卵 1個  
顆粒和風だし 小さじ1/4  
A 醤油 小さじ1  
みりん 小さじ1  
サラダ油 小さじ1  
白ごま 少々

【作り方】①にんじんはピーラーで引き、卵は溶いておく。ツナ缶は油を切る。②フライパンに油を熱し、にんじんを加えてさっと炒めたら、ツナ缶、Aを入れて調味する。③全体に味がなじんだら溶き卵を流し込んでざっくりと炒め合わせる。お皿に盛り付け、白いごまを散らして器に盛りつける。



JR HOTEL CLEMENT TOKUSHIMA ホテルならではの質の高い空間と、行き届いたサービス。

ビジネス・観光の拠点としてぜひご利用ください



JR徳島駅直結ホテル

【JRホテルクレメント徳島】  
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61  
TEL:088-656-3111

ホテルHPは  
こちら



## 各相談室・検査の連絡先

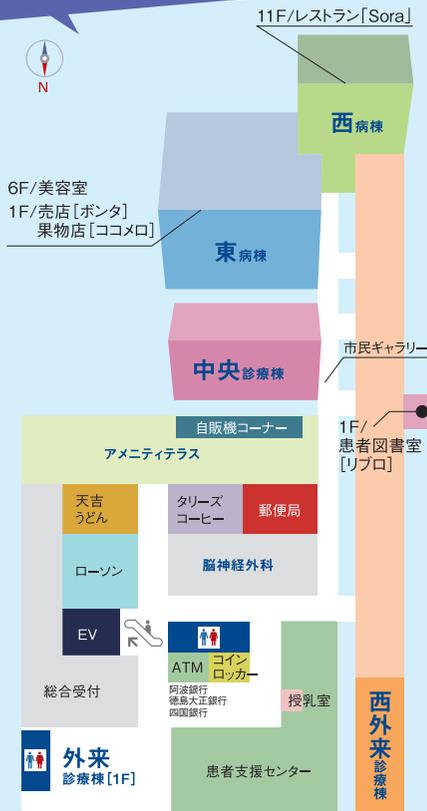
- **緩和ケアセンター**  
(相談受付/月～金曜8:30～17:00) Tel/088-633-7457(Fax兼用)
- **PET/CT検査**(受付/月～金曜9:00～17:00)  
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979
- **セカンドオピニオン外来**(予約受付/月～金曜9:00～17:00)  
Tel/088-633-9654 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- **遺伝カウンセリング外来**(予約受付/月～金曜9:00～17:00)  
Tel/088-633-9218 Fax/088-633-9219 ※完全予約制
- **総合臨床研究センター**(受付/月～金曜9:00～17:00)  
Tel/088-633-9294 Fax/088-633-9295
- **アンチエイジング医療センター**(予約受付/月～金曜9:00～16:00)  
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- **美容センター**(予約受付/月～金曜9:00～16:00)  
Tel/088-633-7047 ※完全予約制
- **患者支援センター[医療相談窓口]**(相談受付/月～金曜8:30～17:00)  
Tel/088-633-9107・088-633-9056 Fax/0120-335-979

## 徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

- **寄付者のご芳名** ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。  
※2022/2/1～2022/3/31時点(順不同)  
徳島ダイハツモータース様 中野 稔様
- **お申し込み状況** 総件数：37件 総額：27,383,000円 ※2021/4/1～2022/3/31時点
- **お申し込み方法** 徳島大学病院のホームページをご覧ください。  
来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。
- **お問い合わせ** 経理調達課経理・管理係(月～金8:30～17:00) Tel/088-633-7016

歩きスマホは大変危険ですので  
ご注意ください。



外来棟玄関↓

※感染症対策のため玄関にて検温を実施しています

**徳島大学病院**  
Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者 病院長 香美 祥二  
 編集部部长 石澤 啓介  
 広報委員会 湯本 浩通 金山 博臣 滝沢 宏光 板東 美香  
 委員 藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖  
 武川 香織 原田 路可 泉 朗 兒玉 実和  
 金子 由起 原井 由美 松井 徹 田木 真和  
 事務担当 総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697